

平成 20 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
コード番号 3088 東証第 1 部
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 南海雄
問 合 せ 先 財務経理部長 小松 栄二
TEL 047-344-5110

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 11 月 19 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 通期の業績予想数値の修正(平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

【単体】

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1, 400	100	100	59
今 回 修 正 予 想 (B)	1, 205	367	241	506
増 減 額 (B-A)	△195	+267	+141	+447
増 減 率 (%)	△13. 9%	+267. 0%	+141. 0%	+757. 6%

【修正理由(単体)】

株式会社マツモトキヨシホールディングス(単体)は平成 19 年 10 月 1 日に設立し、平成 20 年 1 月 1 日にて株式会社マツモトキヨシを分割会社として吸収分割を実施しました。平成 19 年 11 月 19 日の中間決算発表時の予想数値に対し、子会社からの業務受託収入は下回ったものの受託業務に対する発生費用が減少し、営業利益で前回予想数値を大きく上回ることとなりました。一方、創立費等の営業外費用は前回予想数値に対して増加することとなり、経常利益ではその増加率が営業利益の増加率に対して減少いたしました。

また、会社分割により関係会社貸付金に対する貸倒引当金の戻し入れ等の発生による特別利益の計上により、当期純利益は大きく増加することとなりました。

なお、当単体の業績予想の修正が連結業績に与える影響は軽微であります。

2. 通期の連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

【連結】

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	397,000	14,700	16,100	7,000
今回修正予想 (B)	390,934	15,778	16,982	6,801
増減額 (B-A)	△6,066	+1,078	+882	△199
増減率 (%)	△1.5%	+7.3%	+5.5%	△2.8%

【修正理由(連結)】

当連結会計年度においては、新規出店についてその採算性確保をより慎重に行った結果、予想出店数を下回ることとなり、また一方で今後の成長に向け、不採算店の閉鎖を行ってきました。このことにより売上高は前回予想数値を下回ることとなりました。

また、PB商品の拡充等による売上総利益の改善、更に、広告宣伝費の削減或いはポイント付与方法の見直し等により販売費及び一般管理費の削減に努めてきました。その結果、営業利益、経常利益は前回予想数値を上回ることとなりました。

その一方で前述のとおり不採算店閉鎖による固定資産除却損或いは減損損失等の増加による特別損失の増加により、当期純利益は前回予想数値を下回ることとなりました。